

昭和53年1月1日

第128号

編集と発行
鹿児島市広報課
鹿児島市山下町11番1号 〒892
市役所の電話番号 ② 1111

かごしま 市民のひろば

市の人口(推計)

(52.12.1)	(前年同月比)
人口総数 479,171人	(+ 9,033人)
男 227,022人	(+ 4,644人)
女 252,149人	(+ 4,389人)
世帯数 157,970世帯	(+ 3,328世帯)



商業に

福祉に

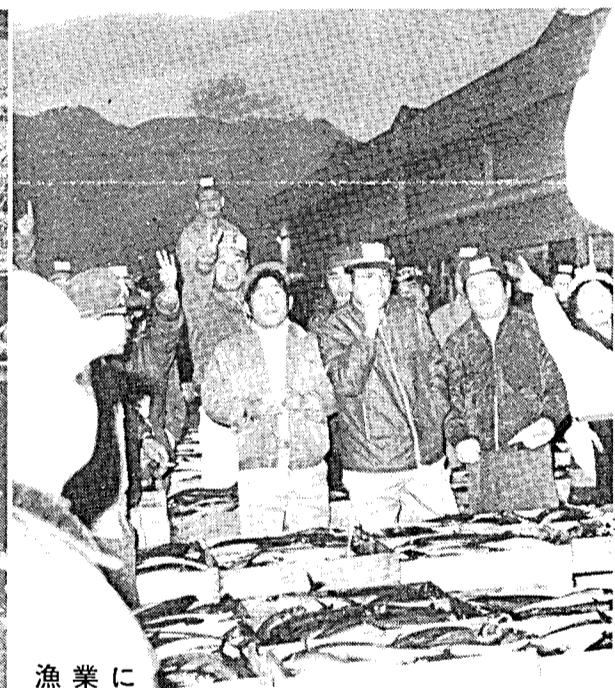
工業に



市民みんなに



農業に



漁業に

うるおいと活力のあるまちに

あけましておめでとうございます
皆さまご家族おそろいでさわやかな新春をお迎えのことと存じます

私も市政を担当して三度目の正月を迎え美しく快適な環境豊かなくらしを生みだす活力人間尊重のあたたかい心教育と文化の香りたかいまちにしたいと念願しております

子どもたちのあどけない笑顔にお年寄りのほほがほころび町角には若者たちの汗とエネルギーがほとばしり未来への希望と活力に満ちあふれたそのような街づくりに市民の皆さまのご協力をお願いたします

市長 山之口 安秀



新年おめでとうございます
めぐまれた自然のなかに大きく伸びてまいりました鹿児島の市も明治二十二年に市政がしかれて八十九年目を迎えました
街には落葉をかたずける姿を多く見かけるようになりました老人やママさんのスポーツ熱も盛んになっています市内の広場はどこもスポーツを楽しむ市民の健康な明るさがあふれております
自由と平和が市民に根づいてまいりますとき鹿児島の市(まち)は美しい都市として発展してゆくものと信じます皆様のご多幸を祈念いたします
して年頭のご挨拶をいたします

市議会議長 酒匂俊一

ナポリ使節団

ようこそ鹿児島へ



市民の歓迎に笑顔で
応える
カルピーノ副市長
(12月11日磯庭園で)

十二月十四日、帰国の途についたナポリ市の親善使節団（アントニオ・カルピーノ副市长以下三十三名）は、わずかな滞在期間にもかかわらず、市内各地を訪れ、イタリア人特有の陽気さで、多くの市民と交流し、堅い友好のきずなを深め合いました。今回の来鹿はさきの山之口市長をはじめとする親善訪問に応えたもので、両市の意見交換会では、経済・特產品の相互交換、文化・学生交流、観光などについて活発な意見の交換をしました。



姉妹都市盟約時の平瀬元
やかな市民レセプション
(12月12日)

市政・ひとしの課題 緑と和と文化のまちへ

不況の長期化している敵し
い社会経済情勢のなかで、新
年を迎えたが、「活力あ
る人間都市づくり」に取り組
む鹿児島市は、ことしも四十
八年市民の福祉の向上をめざ
して、力強い第一歩を踏み出
しました。現在、手がけて
ことは、現在、手がけて
いる吉野公民館と福祉館をは
じめ、谷山の市立体育館や北
部清掃工場、それに市立病院
の周産期医療センターや新し
い谷山支所などが次々と完成
し、市民のみなさんの利用に
供されようとしています。

また、新しい施設として、
心身障害者や老人のための福
祉コミュニティセンターの建
設も、祇園之洲埋立地に計画
してあります。さて、五十三年度の施策の
融資をことしも実施するほ
か、コミュニティづくりのた
に向としては：

花と緑のあふれる 美しいまちづくり

豊かな心を育てる 文化的なまちづくり

めの地域整備などにも取り組
んでまいります。

り、市民生活にも障害が出て
きています。したがって、ひと
と話合いながら、相互に機能
を分担して、広域生活圏とし
て共存をはかっていきたいと
思います。

に努めていただきながら、市
域内の水資源の確保にも努力
してまいります。

さきに、市議会に桜島爆発
対策特別委員会が設置され、
当局と市議会が一体となつて
また周辺の市町とも協力して
法の整備や予算などで国に働き
かけていますので、今後とも
力を入れてまいります。

に、努めていただきながら、市
域内の水資源の確保にも努力
してまいります。

に、努めていただきながら、市
域内の水資源の確保にも努力
してまいります。</

部落解放研究 第3回全九州集会 市民へ送る夕べ

人間は、だれしも個人としての権利と自由を保障してもらいたいという願望をもっています。

鹿児島市では、お互いが望ましい市民性をつちかいながる差別のない、明るい社会建設に努力しているところです。

この度「部落問題を全国民の課題」として発展させていく目的のもとに、部落解放研究第3回全九州集会鹿児島大会が部落解放同盟九州ブロック会議の主催で来ました。2月2日から4日まで開催されることになりました。それは市民のみなさんにとって、「基本的人権とは」、「部落差別の実態は」「眞の平等とは」など、同和問題に対する理解と認識を深める絶好の機会であると思われますので、ぜひ、ご来場ください。

とき 2月3日(金)午後6時~9時

ところ 中央公民館

入場料 無料

内容 講演『基本的人権と部落問題』

放映『さらし笛』

寛政義民「松原五人衆」の映画化

江戸時代における庶民に対する武士の横暴、つくられた身分制度のもとにおける差別からの解放を訴えたもの

想定のもとに、地元住民の

大爆発のおそれがあるとい

う想定のもとに、地元住民の

方をはじめ、自衛隊、海上保

安部、警察、日赤、市医師会

九州海運局、地方気象台、消

防団、県小型船舶交通安全協

議会、鹿児島県、市、桜島町

など約八百名が参加し、避難

訓練、救出訓練、情報訓練、

通信訓練、炊き出し訓練など

を行います。

万一、大爆発がおこると市

内各地でも地震による被害が

発生しますので、日頃から家

けられるよう、今回この貸

付制度を発足させたわけです

この貸付制度のあらましは

心身障害者扶養共済

掛金の公費負担申請

